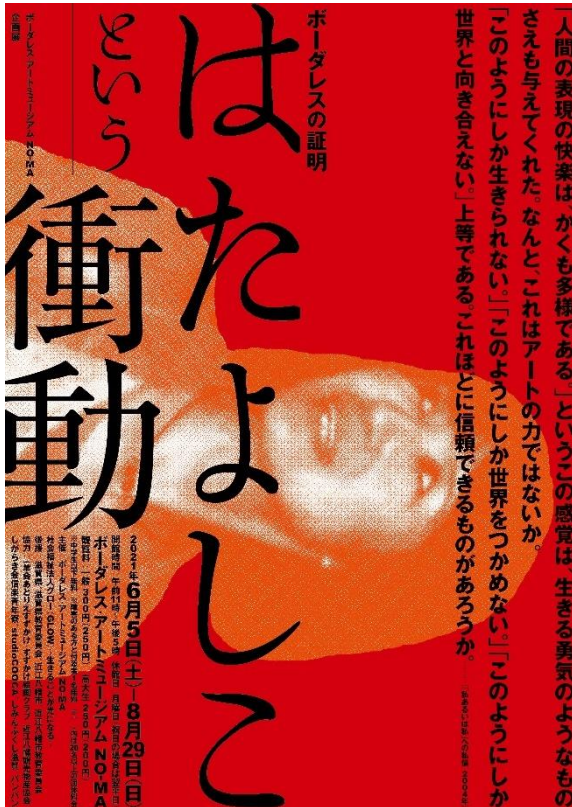


【展覧会】

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展
ボーダレスの証明 はたよしこという衝動

会期：2021年6月5日（土）～8月29日（日）



絵本作家のはたよしこは、1991年、兵庫県西宮市のすずかけ作業所でボランティアとして絵画クラブを始めました。また、1995年頃からは、日本全国の障害のある作者の研究を開始し、多数の作品を発掘してきました。2004年からはNO-MAのアートディレクターとして、20本を超える展覧会を企画し、障害者、高齢者、現代アーティストなど、あらゆる表現者がボーダレスに集う、数々の刺激的な展覧会を生み出し、新たな芸術観を社会に提示してきました。

「人間のDNAには、表現したい衝動というものが列をなして並んでいる」私が頼っているのは、この直感の一つだ。

はたよしこ『DNA パラダイス—27人のアウトサイダーアーティストたち』

はたは、2019年度をもってアートディレクターを引退しましたが、彼女の実践は思想とともに次世代に受け継がれています。本展では、「はたよしこ」という人物がフルスロットルで走り抜けたその軌跡を追い、彼女が思い描き、また行動に移した「ボーダレス」を体感いただきます。

【プロフィール】

はた よしこ Hata Yoshiko 1949— 岡山県生まれ、兵庫県在住

岡山大学教育学部特設美術科卒業。1970年代から2000年初頭にかけて絵本作家として活動するかたわら、子供の造形教室に関わる。ある特別支援学校の作品展で出会った絵に感銘を受け、1991年、ボランティアとして兵庫県西宮市のすずかけ作業所で絵画クラブを始めた。1995年から、日本全国の作者の研究を開始。NO-MAの立ち上げに深く関わり、開館後はアートディレクターとして、数々のボーダレスな展覧会を企画した。



【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）
担当：山田 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2
TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp

【ボーダレスの証明 はたよしこという衝動 の見どころ】

- 1990年代初頭より障害のある人のアート活動に携わり、作品調査や展覧会を通して数多くの独創的な表現を紹介してきたはたよしこ。2019年度にNO-MAのアートディレクターを引退するまで、30年近くにわたる彼女の軌跡を振り返る展覧会。
- 高嶺格の作品をはじめとするはたが過去に手掛けた展示の再構成や、舛次崇の作品を含むはたと関わりの深いアール・ブリュット作者の作品展示など、5部構成からなる展示。
- はたが描いた絵本やその原画を展示し、子どもも楽しめる展覧会。

展覧会概要

タイトル ボーダレスの証明 はたよしこという衝動

会場 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA（滋賀県近江八幡市永原町上16）

会期 2021年6月5日(土)～8月29日(日)

開催時間 11:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料 一般300円（250円） 高大生250円（200円） 中学生以下無料

※障害のある方と付添者1名無料（ ）内は20名以上の団体料金

主催 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA、
社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力 一羊会あとリエすずかけ・すずかけ絵画クラブ、近江八幡観光物産協会、
しがらき会信楽青年寮、studioCOOCA、しみんふくし滋賀、バンバン

展示構成

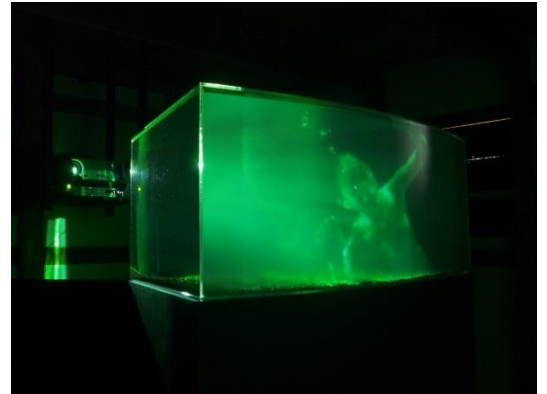
1. Replay

はたが携わった作品展示の中でも、ボーダレスな色彩の濃い 3 組のアーティストの展示を Replay (再演) します。

【Replay I】

高嶺格《水位と体内音》(2004年)

高嶺は、NO-MAのオープン企画展「私あるいは私 [静かなる燃焼系]」(2004年)で、1994年に制作した映像作品《水位と体内音》をもとにしたインスタレーションを展示した。本作は水に漂う裸体を 1/10 のスピードでスロー再生した映像作品であり、NO-MAではこの映像を八幡堀の水を張った水槽に投影した。深緑色の堀の水に投影することで、作品は蔵の中で宝石のように光を放ち、あたかもNO-MAのこれからを象徴的に照らすかのようなようであった。

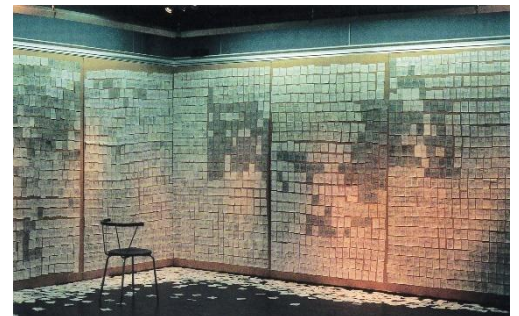


高嶺格 《水位と体内音》(2004年)

【Replay II】

橋脇健一《無題》(1978年頃~2001年頃)

橋脇健一の作品は、「リピート展」(グストハウス、兵庫、1999年)や、はたが京都造形芸術大学の学生とともに企画した展覧会「共振するDNA—表現の内奥を探る—」(GALLERY RAKU、京都、2001年)で、壁面を覆うようにされた。橋脇による刻印するかのような表現を目の当たりにしたはたは、彼の表現の強度を可視化するため、圧倒的な量を見せる展示を実行した。



橋脇健一 《無題》(1978年頃~2001年頃)

【Replay III】

ムラギシマナヴ《アロアンヌ製造中止》(2010年)

吉田格也《鶴の恩返し又は夕鶴》(1985年頃~2010年)

ムラギシマナヴは、はたが複数人の仲間とともに初めて企画したボーダレスな展覧会「21世紀アートのエネルギーをみる」(2001年)に出展している。この展覧会では、身近に溢れた生活用品を非日常的視点で読み替える《実家美》というシリーズを展示した。2010年、NO-MAで開催された「ミクロとマクロ」でムラギシは、吉田格也による、「鶴の恩返し」や「夕鶴」など記号化した絵巻物の“読み替え”を、はたから提案され、映像作品《アロアンヌ製造中止》を制作した。ムラギシの映像と吉田の絵巻物は対に展示され、一体的な空間が生まれた。



ムラギシマナヴ 《アロアンヌ製造中止》(2010年)

吉田格也 《鶴の恩返し又は夕鶴》(1985年頃~2010年)

2. すずかけ絵画クラブのアーティスト

「すずかけ絵画クラブ」は、ボーダレスな活動を求めたはたが立ち上げたという経緯があり、彼女の初期衝動が詰まった場所です。今日まで、数々の独創的な表現がこの場所から生まれています。

【出展者】：尼崎昌弘、舛次崇、竹村幸恵、富塚純光、安田文春



尼崎昌弘 《花魁》（2010年）



舛次崇 《ローラーと花瓶とかえで》（2007年）



竹村幸恵 《無題》（2020年）



富塚純光 《丹波篠山お城ドーナツ》（2009年）



安田文春 《on the mountain (夏)》（制作年不詳）

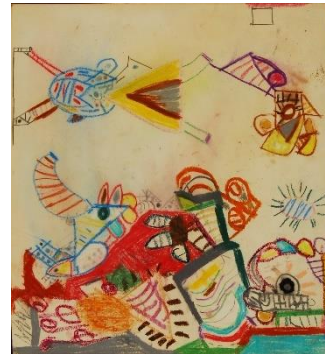
3. 信楽青年寮と田島征三

はたは、幾度となく信楽青年寮の創作現場を訪れています。田島征三と信楽青年寮で制作する人たちとの関わりは、彼女の考えに影響を与えました。

【出展者】：伊藤喜彦、村田清司



伊藤喜彦 《鬼の顔》（制作年不詳）



村田清司 《無題》（制作年不詳）

4. DNA パラダイス——全国の作者との出会い

はたは、経費そっちのけで全国各地の作者のリサーチを行いました。2000年代初頭までに会った作品との出会いは、『DNA パラダイス：27人のアウトサイダーアーティストたち』（2003年、日本知的障害者福祉協会）に収められています。

【出展者】：川村紀子、木伏大助、木村茜



川村紀子 《おとこ》（1995年）



木伏大助 《無題》（1981年）



木村茜 《お線香花火》（2002年）

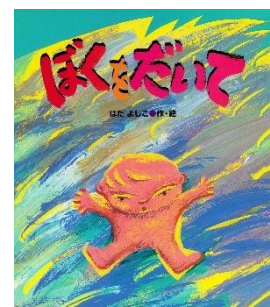
5. はたよしこの絵本

はたは、1980年前後から2000年初頭にかけて、多くの絵本を制作しました。躍動感あふれる筆致など自由に満ちたはたの絵本からは、人物像が垣間見えます。

【絵本展示】

『かけっこしよう』（岩崎書店、1993年）、『ぼくをだいて』（偕成社、1999年）他

『ぼくをだいて』
（偕成社、1999年）



関連イベント情報

(1) 映画「まひるのほし」上映会&アフタートーク

本展の複数の出展者が出演するドキュメンタリー映画「まひるのほし」を上映します。上映後は映画にも登場する工房絵（現 studioC00CA）やすずかけ絵画クラブの関係者を迎え、内容を掘り下げるトークを行います。

①映画上映「まひるのほし」（監督：佐藤真、1998年）

②アフタートーク

講師：関根幹司（studioC00CA 施設長）

三栖香織（すずかけ絵画クラブ・あとりえすずかけ）

聞き手：横井悠（NO-MA主任学芸員）

日時 2021年7月11日（日）13：00～15：30

会場 酒游館（滋賀県近江八幡市仲屋町6）

定員 30名（要予約）

参加費 観覧料（チケットをご提示ください）

(2) 公開制作「大なる絵空事」

富塚純光は事実と空想が入り交じった物語を綴り、文字と絵が一体化した作品を作っています。どのような方法で作品は生み出されるのでしょうか。その独自性にあふれる制作を公開します。

出演 富塚純光（本展出展者）

日時 2021年8月21日（土）11：00～12：30

会場 NO-MA（近江八幡市永原町上16）

定員 なし（予約不要）

参加費 観覧料

■イベントのご予約／お問い合わせ■

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

Tel/Fax 0748-36-5018

E-mail no-ma@lake.ocn.ne.jp

関連企画

『ボーダレスの証明 はたよしこという衝動』関連ブックフェア

はたよしこの絵本や、本展出展作家の著書、アール・ブリュットの関連本等、本展をより深く知り、楽しむための資料を集めたブックフェアを、近江八幡市立図書館で展開します。

会場 近江八幡市立図書館（滋賀県近江八幡市宮内町100）

会期 2021年6月5日（土）～8月29日（日）

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部
 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
 FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- (1) キャプションは、作家名、作品名、制作年を必ず表記ください。
- (2) 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- (3) 本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

媒体名：

『 _____ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
 ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日：

御社名： _____ ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____ @ _____
 (〒 _____)

ご住所： _____

お電話番号： _____ FAX： _____

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	①高嶺 格	《水位と体内音》	2004年
<input type="checkbox"/>	②橋脇 健一	《無題》	1978年頃～2001年頃
<input type="checkbox"/>	③ムラギシマナヴ 吉田 格也	《アロアンヌ製造中止》 《鶴の恩返し又は夕鶴》	2010年 1985年頃～2010年
<input type="checkbox"/>	④尼崎 昌弘	《花魁》	2010年
<input type="checkbox"/>	⑤舛次 崇	《ローラーと花瓶とかえで》	2007年
<input type="checkbox"/>	⑥竹村 幸恵	《無題》	2020年
<input type="checkbox"/>	⑦富塚 純光	《丹波篠山お城ドーナツ》	2009年
<input type="checkbox"/>	⑧安田 文春	《on the mountain (夏)》	制作年不詳
<input type="checkbox"/>	⑨伊藤 喜彦	《鬼の顔》	制作年不詳
<input type="checkbox"/>	⑩村田 清司	《無題》	制昨年不詳
<input type="checkbox"/>	⑪川村 紀子	《おとこ》	1995年
<input type="checkbox"/>	⑫木伏 大助	《無題》	1981年
<input type="checkbox"/>	⑬木村 茜	《お線香花火》	2002年

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：山田 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp